

千客万来 (第21号)



2006年2月10日発行

1 ごあいさつ

厳冬襲来！皆様には如何お過ごしでしょうか（積雪 3回ありました）
お見舞い申し上げます。【災】の年を送り、再び【災】を招いてはなりません。今年こそ
人災・天災を排除して明るい希望の実る年にしたいものです。皆様の更なるご発展とご多幸
をお祈り申し上げます。

私達スタッフも、皆様のご厚情にお応えして一層精進いたします。本年もどうぞよろし
くお願い申し上げます。

2 今年の目標

ようやくぶどう栽培暦50有余年、『花澤ぶどう研究所』を設立して18年目を迎えました。
未だにぶどうの奥の深さに驚嘆する事しばし……。昨年、茨城県で開かれた研修会に
参加して目からうろこ！またまた、たくさんの素晴らしい友に師事し初心に返って挑戦です。
全力投球いたします。そのために次のような目標を考えました。

従来の栽培方法を見直し、収量・品質の安定向上を目指すため、
改良をするべき事は改良をする。（整枝法と枝の管理・根の管理 etc.）

「瀬戸ジャイアンツ」＝【桃太郎ぶどう】を増産する。

品の安心・安全・信用を高めるため、生産現場を公開する機会を作る。

「百聞は一見にしかず」・「論より証拠」希望される消費者の皆様には、生産現場
を多く見ていただき一層信用を高めたい。

3 昨年の収穫後から今日までの管理

(1) 夏～秋

(台風のいたずら)



9月6・7日 14号台風 果実は防護努力で直接被害は
免れましたが、『秋峰』だけは畑が冠水したのと農薬散布が出来ないた
めにウドンコ病が発生。加えて暖秋のため着色も進まず、品質共に期待
はずれとなりました。

また、ハウスのフィルムが3箇所も破損しましたが、収穫していない
ところは、応急手当で雨に濡れないよう覆いました。濡れると病気になり
ます。

(2) 秋～冬

*暖秋で野山の紅葉も遅れましたが、ハウスのぶどうの葉はいつまでも緑濃く、年末の強い寒
波で凍害枯死するまで、新芽が伸びようとしていました。そのため収穫後の病虫害が多く越冬病
害虫を少なくするため、計画外に農薬（殺苗・殺虫剤）を2回も使用しました。

* 10月中旬 例年通り堆肥を10a=2~4t(1m²当たり2~4kg)散布、魚骨粉も1株おおよそ500~700gを加えました。施肥はこれだけで十分です。ただ昨年の場合時期が少し早かった感もありました。

* 12月中~下旬

いつまでも落葉しないため、光合成よりも養分消費が多いと考えて、大きな樹は強制的に摘葉しました。

* ハウスのフィルムの張替え

台風で破れた箇所があるのと、年とともにフィルムが劣化し光線の透過が劣るため、11月下旬にフィルムの張替えをしました。(2棟、約10a。)

石油高騰で諸資材費が40~50%もの値上がり。それに、ハウスの高い所での危険な作業とあって、委託人夫の人件費の高騰(職人がいない)で、思わぬ出費となりました。でも、ハウスの中が明るくなり雨漏りもなく、これから芽を出すブドウにとっては、太陽の光がいっぱい降り注ぎ、美味しいぶどうに成長するのに役立つ事でしょう。また、横窓の開閉機(温度調節のため上下に開閉する)が楽に作動出来るようになりました。温度調節を毎日気遣う者にとっては、作業が楽になり大変嬉しい事です。



(フィルム張替え作業中)

(3) 今後の予定



(切り落とした枝を破碎)

* 整枝・剪定 目下進行中。切り落とした枝葉は集めて粉碎し、堆肥化しています。

* 病虫害防除 2月~3月 粗皮を剥ぎ取り越冬病虫害を皮と共に焼却します。

* 保温開始 2月中旬~3月上旬 今は開放しているハウスの窓を締め切り、保温をしてぶどうの発芽を促します。

* 発芽開始 4月の花便りが聞かれる頃、発芽が始まります。そして発芽から約35日後ぐらいからは花房の手入れ。5月初めには幼果の手入れが始まります。

* 5~6月は枝葉の管理・病虫害の予防・房作り・粒間引きと1年で一番忙しい時期を迎えます。

* 7月は袋かけ。

今年の作柄が予想可能となり次第、次号のお便りでご注文をいただくこととなります。夏のお中元に間に合わないかとのお問い合わせを毎年たくさんいただきます。

涼玉(りょうぎよく 短円錐形・緑色)・ハイベリー(いちじく形・黒色)の品種は、8月上旬には収穫できるようになりますが、生産量が少ないのと単品ではなく「詰め合わせ」としてお送りしているので、ご要望に沿えず申し訳ございません。今後研究の余地はあると考えております。

4 トピックス

お客様の声1(お電話から)

お届けした全ての皆様に、ご満足いただけるようにと努力をしておりますが、昨年も数件の

クレームがございました。例えば

- ・すっぱくて美味しくない房があった
- ・房を持ち上げたら粒がばらばら落ちた
- ・潰れていてカビが生えていた
- ・種がないと書いてあるが種が残っていた
- ・容量と価格が希望と異なった。『桃太郎』1房の値段が安すぎて先方に失礼だ
- ・表示と異なるので消費者センターへ届けようかと思ったとお叱りもいただきました。



(第二農場 江尻ハウス)

その他、毎年のことながら、ご注文の箱数を間違えたり、お届け先の方が長期旅行でお留守で転送させていただいたり・・・と、種々ご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。今年は少しでもご満足いただけますように、気をつけるようにいたします。どうぞよろしく願いいたします。

お客様の声2 (お便りから)

- ・ 毎年有難う。今年は特に甘くて美味しかった！
- ・ デパートで「桃太郎ぶどう」を購入してみたが、見掛けはよかったが美味しさが全然違ったので驚いた！
- ・ お届け先様から喜ばれた。もう少し差し上げればよかった！
- ・ もうこのぶどうを食べたら他所のは食べられない！
- ・ 孫が1房まるごと抱え込んで離さない！
- ・ 病身の親に食べさせる事が出来て嬉しかった！

このように、生産者冥利に尽きるようなお便りも頂いております。ありがとうございます
また、『千客万来』を発送した時やお送りしたぶどうが届いた時、そして暑中見舞い・年賀状の季節にと、機をとらまえて毎回お便りをいただく方々には、心からお礼申し上げます。いつもすぐに対応出来ない私共です。伏してお詫びを申し上げる次第です。



(林君(左)と乾杯！)

岳野君研修終了間近・・・4月から東京へ！

昨年の4月から、我が家で研修を続けて来た岳野君は、このお便りが皆さんに届く頃には長崎へ。4月から始まる東京の「農業者大学」での3年間の研修へ向けて準備を始めていることでしょうか。さらに高度な実力を養成してください。1年間があっという間でしたね。几帳面で綺麗ずきでよく気が付き、だれにでもいつでも優しい気遣いの出来る、最近の若者には珍しい素晴らしい青年でした。

ぶどう栽培もこの優しい心で接すれば、きっと美味しくて素晴らしいぶどうが育つに違いありません。郷里長崎県西海市の果樹園で、ご

両親と共にぶどう農家としての挑戦が始まるのも、そう遠くはないことですね。どうぞいつまでも彼を見守っていただきご支援下さい！暖かいムードを我が家へいっぱい膨らませてくれました。

『花澤会』誕生

色々な品種の特徴をつかんで、美味しいぶどうを育てる技術を勉強しようと『花澤会』が発足しました。ベテランに加えて若手も含め10名が会員です。高品質栽培に挑戦しようとしています。研究の具体的な内容はひ・み・つ！（知的財産ですから）

ぶどうの先祖を尋ねて来ました

昨年7月23日～8月4日 マスカット系ぶどうの原産地の外辺に当たる、中国・南新疆西部（ウルムチ・クチャ・コルラ・ニヤ・ホータン・ヤルカシド・カシュガル）を視察。期待していた品種には遭遇できませんでしたが、各地の文化・産業・民生を垣間見る事が出来ました。

私達から見ると、幾代かタイムスリップしたかのような民生の中で、ウイグルの人々は『我々こそ世界一幸せな人間だ！』と胸を張って生きておられました。その姿に、物質文明優先の私にとって深い感銘を覚えると共に、反省を余儀なくさせられました。



（シルクロードのぶどう）

5 あとがき

歳月の流れは何とも早いもので『千客万来』を創刊して11年目に入り、無事第21号をお届けする事が出来ました。これも皆様に終始変わらぬご支援を頂き、よきにつけ悪しきにつけお導きいただきましたお蔭と深く感謝申し上げます。有難うございます！

時代と共に人の心も考え方も生活の様子も変わり、ぶどうも『食べやすいもの』『美味しいもの』『安全なもの』へと移ろい、今また少量・多品種消費へと変わりつつあります。

幸いに我が家では、こうした消費者の嗜好の変化を、28年前頃から予測していたこととなります。昭和53年、当時の瀬戸農業高校（現在の瀬戸南高校）へ勤務していた時、専門誌『果実日本』の原稿依頼を受け、2月号に実践モデルを発表。以来研鑽を積んで参りました。平成元年に早期退職をして当研究所を開設。『珍しい世界のぶどう詰め合わせ』を発表し今日に至っております。

育種の研究では、タネナシ・巨大粒・食味極上（皮のまま食べられる）をと研究を重ね、生食ぶどうでは、目下、日本いや世界に誇れるといわれている『瀬戸ジャイアンツ』を育成。現在では「桃太郎ぶどう」として、県内はもとより全国各地で多くの生産者の目に止まり、市場も注目をしております。それに続くぶどう『マスカットデュークアモーレ』・『ハイベリー』ほか種苗登録した品種は8品種。後続品種群として、赤系ぶどうが何品種か育っています。これらを皆様の嗜好に適合させることが出来るよう、研究を続けております。どうぞご期待下さい。

（原稿・花澤 茂 作成・花澤睦子）



（今年は成年！）



（横山さんのご紹介でご近所の友人が増えました！）